

指導分野・指導方針・指定課題

教 員 名	青木 聖久 教授
指 導 分 野 (テーマ)	私の専門は、『社会福祉学』『精神保健福祉学』です。また、分野としては、精神保健福祉、家族、経済的支援、就労等について、自身が日常的に取り組んでいます。しかし、これらと異なる分野でも問題はありません。ただし、研究論文指導では、前述の専門的な視点からなることをご理解ください。
指 導 方 針	<p>(1) 皆さんへのメッセージ</p> <p>研究は、「私にとって、対象者にとって、そして、社会にとって意義あるもの」であることが重要です。そのような意味では、社会人学生の皆さんが、これまでのプロセスのなかで、「取り組みたい」と思っている内容にこそ、私は意味を見出しています。また、皆さん自身の「研究をする私の立ち位置」も大切です。それらのことをふまえつつ、社会福祉研究として、一緒に形にしていければと存じます。</p> <p>(2) 指導日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究の動機付けとテーマ設定 4 月—5 月 * 面談 <li style="padding-left: 2em;">(研究ストーリーを完成させます) ・ 論文の章立て 5 月—6 月 ・ 先行研究 5 月—7 月 ・ 中間発表 9 月—11 月 * 面談 ・ 論文執筆 9 月—12 月 ・ 完成論文提出 12 月—1 月 <p>(3) 指導方法</p> <p>基本的に、Zoom を用いたリモートでの指導を、2 カ月に 1 回ぐらいできればと思います。また、コロナの状況が収束されれば、名古屋及び美浜キャンパスにて、対面指導も可能です。加えて、メールによる指導を考えています。</p>
指 定 課 題	<p>「私の研究課題」について、A4 用紙 1 枚～2 枚（字数は自由）に書いて提出してください。執筆にあたっては、あなたの現状認識を明示すると共に、その解決方法について記載するようにしてください。(以下は、例示です。「家族支援については社会福祉専門職の理解が乏しい」「精神障害者は社会から差別や偏見を受けている」「障害者、とりわけ内部障害や精神障害を抱えている人は、就労することによって障害年金が支給停止になっている」「一般就労と所得保障とは相容れにくい」等)</p> <p>また、課題では、「伝える・わかる文章」を心がけてください。具体的には、一文を短文にする、主語と述語を明確にする、声に出して読み返してみる、などです。ぜひ、社会福祉学に基づき、わかりやすい論文を書くために、思い切って、門をたたいてください。</p> <p>なお、下記の文献を参照していただければと思います。</p> <p>小泉十三『「頭がいい人」と言われる文章の書き方』河出書房新社、2020</p>